

館林の城下町と村

館林市史

発刊のご案内

江戸時代の城下町と周辺の村に伝わる
館林関係の古文書約230点を集大成!



●第5回配本
資料編4近世II
館林の城下町と村
B5判 600ページ(カラー100ページ)
3,000円

館林市史 刊行案内

■館林市史購入のご案内

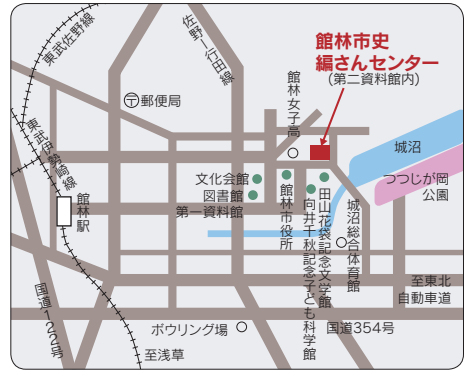
お申し込み方法

販売窓口：下記でご購入できます。

場 所	取り扱い
館林市史編さんセンター(第二資料館) 館林市文化会館	
館林市役所総合案内(1階)	月～金曜日
田山花袋記念文学館 向井千秋記念子ども科学館	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く
館林市立図書館 館林市第一資料館	休館日(月曜・祝日の翌日・月末整理日)を除く
群馬県立館林美術館 ミュージアムショップ	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く ※一部展示替による臨時休館日を除く
館林市内の書店 (ケツカ書店・聞声堂書店・みくに書房)	

◆郵送の場合
遠隔地の方は郵便振替による購入ができます。
電話・FAX・Eメールで下記にお申し込みください。

〒374-0018 群馬県館林市城町2-3(館林市第二資料館内)
館林市史編さんセンター
TEL・FAX 0276-76-7651
E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp



刊行書名	内容予定
通史編	◇原始・古代・中世 ◇近世 ◇近代・現代
特別編	◆第1巻 館林とツツジ ※既刊 ◆第2巻 絵図と地図にみる館林※既刊 ◆第3巻 館林の自然と生きもの※既刊 ◇石造物(城館・考古資料)※次回刊行予定 ◇民俗 ◇建造物 ◇芸術文化
資料編	◇1 原始古代<館林の遺跡と古代史> ◆2 中世<佐貫荘と戦国の館林>※既刊 ◇3 近世I<館林城と藩政> ◆4 近世II<館林の城下町と村>※既刊 ◇5 近現代I<産業とくらし> ◇6 近現代II<事件記録>※次回刊行予定

※テーマ名は変更あり

『館林市史』は、通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻の全16巻を刊行する予定です。館林の自然、歴史、民俗などさまざまな分野から、特色ある文化遺産を紹介し、未来へ伝えていきます。



『館林市史』特別編第1～3巻、資料編

江戸時代、館林城を中心とした城下町が発展し、その周辺には多くの村がありました。

城下町にはどんな仕組みがあり、

どんな商家が発達していたのか…

年貢や労役などを課せられていた村びとたちの暮らしは…

古文書に記されたさまざまなかたちから、

隠れた歴史が見えてきます。

【第一部】古文書へのいざない(カラー)

◇城下町と周辺の村に伝わる古文書21点を年代順にカラー写真で紹介。古文書から見えてくる館林の江戸時代の町や村の話題を最新の研究成果をふまえて解説。さらに古文書の読み方や訳文を載せた詳しい解説で古文書学習へといざないます。

1. 河川敷に耕地を開く「検地帳」
2. 河岸問屋屋敷地の年貢免除を願う
3. 多々良沼の網漁、危しし
4. 年貢を納める
5. 城下町を支える人びと「検断」
6. 大谷原御林から御薪を伐り出す
7. 村の取り決め
8. 青物・果物の生産と販売
9. 賑わう城下の市場
10. 神に捧げるささら舞「羽附ささら」
11. 日光へ続く道の渡し場
12. 質に入られた機織場
13. 城下の綿屋職人仲間
14. 城下町のまつりの様子
15. 名主の備忘録「御用留」
16. 江戸期の館林近郊めぐり「地名を学ぶ」
17. 家相を占う「江戸時代の建築習俗」
18. 寺子屋には誰が学んだか
19. 大谷原御林を守る
20. 官軍が通る「明治の世へ」
21. 神仏習合を禁止する

◇「館林城下町図」と「封内経界図誌」から、町と村の概要を紹介。

【第二部】町と村の古文書

◇館林市内などに伝わる町と村の古文書約230点を紹介。テーマごとに年代順に並べ、資料1点ごとにわかりやすい解説を付け、約300年にわたる館林に暮らす人びとの歴史を追います。

第一章 町村のようす

城下町館林／市域の村むら／地域と支配

第二章 土地と年貢

村びとと土地／村びとの負担／林野の利用と開発

第三章 産業と交通

さまざまな営み／往来する人びと

第四章 水と暮らし

河岸と水運／用水と利水／水害と治水

第五章 文化と信仰

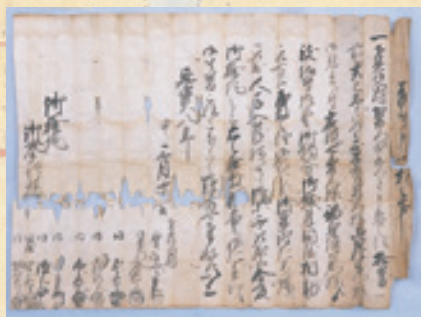
学問・風雅・剣術／習俗と祭礼／信仰

第六章 町と村の事件簿

火事／婚姻をめぐる事件／自害・行倒れ／さまざまな事件



▲館林市内の町と村の古文書



▲下早川田河岸問屋屋敷年貢免除願書
(延宝8年(1680))